

『マンホールサミット』開催意向アンケート調査

下水道広報プラットフォーム事務局

GKPは、下水道に関する情報共有及び、広報活動を通じ下水道の将来を考える全国ネットワークの構築を目指し2012年に設立致しました。

その活動プロジェクトの一つとして「マンホールサミット（以下MHSと略す）」を2014年から開催し、2018年11月3日（予定）の「マンホールサミット in 北九州」が第8回目となります。第7回の倉敷開催では約3,500名の方々をお迎えし、大いに盛り上がるイベントに成長しており、開催を希望する声も多く聞こえてきております。

そこで、GKPでは「MHSに関する基本的な考え方」を取りまとめ、平成31年度以降にGKPと共催していただける公共団体を決めていくこととしました。

【MHSの基本的な考え方】

- (1) MHSは、①マンホールの蓋等の魅力を発信する、②下水道の機能・役割への理解を促進する、の2つの目的をもって開催します。
- (2) MHSは地方公共団体とGKPの共催とします。
 - ・公共団体は、ヒト（運営）、モノ（会場）、カネ（予算）をご準備いただき、主体的に取り組んでいただきます。
 - ・GKPは、所用のヒト、カネを用意し、公共団体と連携してMHSを企画運営します。
- (3) MHSは、基本的に①マンホール蓋展示、②リレートーク、③マンホール関連グッズ販売から構成されます。

MHSの成功は開催地自治体の熱意と取り組み方にかかっております。

つきましては、開催意向についてアンケートを実施させていただきますので、別紙にご記入の上、GKP事務局に提出方お願い致します。

意向アンケートを踏まえ、GKPが必要な協議を行わせていただいた上で、年1回を基本として開催地を決定させていただきます。

アンケート提出期限 平成30年11月9日（金）

アンケート調書はメールにてお願いします。

アンケートに関するご質問はメールのみにてお受けいたします。

【提出先】

下水道広報プラットフォーム事務局

e-mail: info@gk-p.jp